

保医発0305第4号
平成26年3月5日

地方厚生（支）局医療課長
都道府県民生主管部（局）
国民健康保険主管課（部）長
都道府県後期高齢者医療主管部（局）
後期高齢者医療主管課（部）長

殿



厚生労働省保険局医療課長
（公印省略）

使用薬剤の薬価（薬価基準）等の一部改正について

「使用薬剤の薬価（薬価基準）」（平成20年厚生労働省告示第60号。以下「薬価基準」という。）については、平成26年厚生労働省告示第61号をもって改正され、平成26年4月1日から適用されることとなったところですが、その概要は下記のとおりですので、貴管下の保険医療機関、審査支払機関等に対して周知徹底をお願いします。

また、「療担規則及び薬担規則並びに療担基準に基づき厚生労働大臣が定める掲示事項等」（平成18年厚生労働省告示第107号。以下「掲示事項等告示」という。）及び「特掲診療料の施設基準等」（平成20年厚生労働省告示第63号）が、平成26年厚生労働省告示第56号及び第59号をもって改正され、平成26年4月1日から適用されることになったことに伴い、ハイゼントラ20%皮下注4g/20mL、同2g/10mL及び同1g/5mLの保険上の取扱いに係る留意事項を下記のとおり通知することとしたので、貴管下の保険医療機関、審査支払機関等に対して周知徹底をお願いします。

記

- 1 薬価とは、保険医療機関及び保険薬局における薬剤の支給に要する額として、医療保険から支払われるものであり、保険医療機関及び保険薬局が薬剤を購入する際に支払うべき消費税及び地方消費税に相当する額を含めているものであること。
- 2 薬価の算定については、「薬価算定の基準について」（平成26年2月12日保発0212第4号）に基づき、算出したこと。
- 3 薬価基準の別表に記載されている全医薬品の品目数は、次のとおりであること。

区分	内用薬	注射薬	外用薬	歯科用薬剤	計
品目数	9,092	3,721	2,465	25	15,303

4 関係通知の一部改正について

「使用薬剤の薬価（薬価基準）等の一部改正について」（平成22年9月17日付け保医発0917第1号）記2（1）を次のように改める。

(1) ヤーズ配合錠

- ① 本薬剤の効能・効果は、「月経困難症」であること。
- ② 本薬剤が避妊の目的で処方された場合には、保険給付の対象とはしないこと。
- ③ 本薬剤は1シートに有効成分を含有する錠剤（実薬錠）を24錠及び有効成分を含有しない錠剤（プラセボ錠）を4錠、合計28錠を含む製剤であり、その用法・用量から、原則、シートの形態で処方されるものであるため、実薬錠及びプラセボ錠の区別無く、本薬剤の1日あたりに算定した額を用いて、以下に示す例を参考に請求を行うこと。

例) ヤーズ配合錠 1錠
1日1回 28日分

5 ハイゼントラ20%皮下注4g/20mL、同2g/10mL及び同1g/5mLの保険適用上の取扱いについて

本薬剤はpH4処理酸性人免疫グロブリン（皮下注射）製剤であり、本薬剤の自己注射を行っている患者に対して指導管理を行った場合は、「診療報酬の算定方法」（平成20年厚生労働省告示第59号）別表第一医科診療報酬点数表（以下、「医科点数表」という。）区分番号「C101」在宅自己注射指導管理料を算定できるものであること。